一真会報

発行所　妙法山　雲雷寺
編集長　住職　伊丹瑞栄
編集員　執事　伊丹瑞廣

高祖日蓮大聖人　ご報恩お会式法要のご案内

当山では左記の通り、第七四二回目のお会式法要をお勤め致します。皆様お繰り合わせ是非ご参詣下さい。

十一月十九日（日）　午後一時より　一真会堂にて

午後一時　ご報恩お会式法要

十月十三日は、日蓮聖人のご命日にあたります。日蓮聖人に対するご報恩のため、その日に檀信徒が集い営まれる「日蓮聖人ご報恩お会式」を略して、今日では「お会式」と呼ばれています。当日は、身延山・久遠寺や池上・本門寺などの全国大寺院で大法要が勤められます。当山ではささやかな法要を右記日時でお勤め致します。

萬灯作りの事

日蓮聖人が亡くなった日、桜の木が季節はずれの花を咲かせたというお話から、桜の造花を飾って萬灯供養を盛大に行う様になりました。その萬灯作りを、十一月三日（祝）午前九時より行います。ぜひお子様と共に、ご奉仕お願い致します。

建塔供養の事

高祖日蓮大聖人に対するご報恩のために卒塔婆を建てることを建塔供養と云います。建塔供養をされた方には、家内安全・息災延命のご祈願と、ご先祖様へのご回向もあわせて致します。また、「高祖日蓮大菩薩擁護」のお札と、お会式饅頭（雲雷寺オリジナル・桜の蕾と開花をイメージ）などを送ります。

◎建塔供養料は、お施主様お一人につき一金五千円也をご山納頂きます。ご希望の方は別紙ハガキにご記入の上早めにご返信下さい。

七五三のご祈祷

お子様の身体健全・発育成就・智恵明瞭の特別祈祷を致します。早めにご予約ください。記念品（お子様の手形色紙）とお土産を用意しております。

身延山　御年頭会

日蓮聖人の年初ご命日に大聖人に賀を献じ、忍難慈勝のご生涯を偲びつつ、祖願達成を祈るご年頭の法会（御年頭会）に左記要領にて参列致します。希望者は早目に山主までお知らせ下さい。

日時　：　令和六年一月十三日（土）
　　午前十時　祖師堂法要
　　午前十一時　曳馬式・祝賀の儀
場所　：　身延山久遠寺（南巨摩郡身延町身延三五六七）
費用　：　JR新大阪駅から身延駅迄の往復切符代（現地集合解散）
　　祝賀会費　五千円

※日帰りの為、宿泊費は必要ありません。詳しくは山主までお尋ね下さい。

雲雷寺だより

○六月一八日　十四時
　野田四丁目町会、北辰妙見大菩薩の大祭があり瑞廣上人が勤めました。
○六月二十日　十六時半　烏山幸龍寺天晴会館席
　第８０回日蓮宗霊断師会相伝講習会開講式があり会長として訓示しました。
○六月二一日　十一時　歌舞伎座
　市川中車、市川團子出演の歌舞伎を、坊守と激励を込めて鑑賞しました。
○六月二四日　本山・本満寺席
　十五時より責任役員会、十六時より総代会が開催され、令和四年度決算報告、法灯継承晋山式決算報告が承認されました。
○六月二五日　十三時　一真会堂
　報恩会・守護神祭・倶生霊神符お取替えの義
　当山開山以来歴代の先師、殊に
本年三百七十回忌の当山第三世正寿院日遣上人
本年二百十回忌の当山第十二世智優院日領上人
本年百八十回忌の当山第十五世勇進院日雄上人
　各上人の増圓妙道位隣大覚を祈り、また、当山役員物故者之諸霊位、永代祠堂加入之諸霊位、そして当山檀信徒先祖代々之霊位の追善法要を勤めました。

　希望者には報恩感謝の六尺塔婆を建立してご先祖や有縁の霊の供養をも致しました。
　また、過去一年間で次記の方が永代供養をされ、お位牌を作り永代祀堂にお祀りし、当山の過去帳にも浄書致しました。
　施主　今井春江様
　真乗院妙蓮日浄信女霊位
　俗名　石井コマ
　昭和二十四年十一月　十四日命日
　浄潔院法柳日寛信士霊位
　俗名　今井　寛
　令和　四　年　六月二十九日命日
　勤心院温情法憲信士霊位
　俗名　今井憲治
　平成　十五年　七月二十九日命日
　施主　西村樹一朗様
　堅道院妙朗日利大姉霊位
　俗名　西村利子
　令和　四　年　九月　九　日命日
　施主　長谷川耕一様
　長谷川家先祖代々之精霊
　施主　梁川喜盛様
　寒月院法彦優雲信士霊位
　俗名　梁川和彦
　平成　四　年十二月　十七日命日
　なお、当山より煎茶の粗供養をさせていただきました。引続き守護神祭特別祈祷、御火焚き祈祷を瑞廣上人が勤めました。

○六月二七日　十六時
　矢田・法華寺席
　莚師法縁大阪支部総会に出席しました。
○六月二九日　十時半
　烏山幸龍寺天晴会館
　第８０回日蓮宗霊断師会相伝講習会閉講式にあたり、会長として修了書、辞令を渡し訓示しました。
●七月一日　十四時　一真会堂
　七月の盛運祈願祭を勤め、参詣者の家門繁栄と倶生霊神符着帯者の身体健全などを祈念しました。
　また、それぞれのお家の事情で月詣りなどが出来ずに思案されている方のために、この盛運祈願祭にてご先祖や故人の御回向をさせて頂いております。詳しくは山主までお尋ね下さい。
○七月三日　十二時半
　佐藤敦子様の葬儀を勤めました。
○七月四日　十時　一真会堂
　某家七回忌法要を瑞廣上人が無参拝で勤めました。
　十三時半　雲雷寺客殿二階
　第十三期紹継塾四回目の講義が開催されました。
○七月五日　十八時　八坂・左阿弥席
　潮師法縁近畿支部総会が開催され、支部長の役を果たしました。
○七月八日　十四時　一真会堂
　月例施餓鬼会を瑞廣上人が勤め、水塔婆に記した

各霊位の供養をし、参詣者の罪障消滅・心願成就等を祈願しました

○七月九日
浜島典彦副総務をお迎えし、身延山大阪本願人会総会が左記の日程で開催されました。
十一時　物故者法要（一真会堂）
十一時半　総　会（客殿二階）
十二時半　懇親会（客殿二階）

○七月一六日　十四時　客殿二階
責任役員・総代会が開催され、令和四年度決算、並びに令和五年度予算が承認されました。

○七月十八日
亡きご両親の追善供養のため、七条袈裟、四ツ紐衣、燕尾帽子、各二着（百五十万円相当）を奉納して頂きました。
お施主様は中島榮子様、中島功雄様、中島教雄様、中島伸様、加納典子様のご兄弟です。
誠にありがとうございました。

○七月二十日
日蓮宗霊断師会大阪府和歌山県支部総会等が、左記の日程で開催されました。
十一時半　総会
十三時半　研修会
十七時　懇親会・新霊断師歓迎会

○七月二一日　十四時半
佐藤俊策様の葬儀を勤めました。

○七月二三日　十時
古賀悦子様の葬儀を勤めました。

○七月二八日　十一時半
今村吉孝様自家用車の交通安全祈祷を、瑞廣上人が勤めました。

○七月二九日　十四時　一真会堂
八月の盛運祈願祭を勤めました。

○七月三十日　十一時　一真会堂
吉村彰史上人を導師に迎え、ほうろく加持祈禱を勤めました。

●八月三日　十一時　茶室
来春出版予定の本山本満寺主催紹継塾関連のインタビューがありました。

○八月四日九時半一真会堂
某家三十七回忌法要を無参拝で勤めました。

○八月六日　一真会堂
十四時・十六時　お寺で棚経を勤めました。

○八月七日　十時
ペット合祀墓の開眼法要を瑞廣上人が勤めました。

○八月一一日
一真会堂
十時・十二時　お寺で棚経を勤めました。

○八月七日～十五日
棚経にお伺いしました。

○八月一六日　十三時　一真会堂
盂蘭盆施餓鬼大法要を勤めました。総代・有志の方々にはお手伝い誠に有り難うございました。
総供養の施主は左記の方々で、法要の最後にお自我偈一巻とお題目を唱え、各霊位にご回向申し上げました。また、総供養施主、卒塔婆建立施主、身施奉仕者、参詣者皆様の現世安穏後生善処を祈念しました。

総供養　施主
亡会長供養　萬国観光㈱　様
〃　㈱　美松　様
初盆供養　三万円の部
亡妻供養　石原　弘　様
亡母供養　河原　章二　様
亡叔母供養　小澤　則夫　様
初盆供養　一万円の部
（とん牒・クラッカー）

施主
亡夫供養　三井　悦子　様
亡母供養　西村樹一朗　様
亡夫供養　尾崎多恵子　様
亡母供養　和気　祐造　様
亡弟供養　久保田佳伸　様
亡妻供養　山本　勝久　様
亡父供養　濵名　康誠　様
亡母供養　大島　邦裕　様
亡母供養　三枝　一孝　様
ご供養誠に有り難うございました。

第39回身延山祖廟輪番奉仕について

祖廟輪番奉仕とは、日蓮聖人のご遺命により直弟子六人（六老僧）が一月毎に交替して祖廟（日蓮聖人のご廟所）を護持する輪番給仕の制度の事です。法主猊下がその任に当たられておりますが、現在では、全国の寺院・檀信徒が法主猊下に替わって輪番でご給仕しております。御真骨堂にて輪番法要を勤め、日蓮聖人の御真骨を遙拝し、「霊山之契り」を頂戴します。「霊山之契り」とは、我々の死後、日蓮聖人がおられる霊山浄土に必ず詣る事が出来る契りの事です。この契りは、輪番奉仕をされた方のみ頂く事ができます。

令和5年11月26日(日)　13：00より

身延山久遠寺　現地集合・現地解散にて

詳しくは当山へご連絡下さい

荒行堂祈願・荒行堂供養のご案内

「荒行堂祈願」・「荒行堂供養」とは、毎年11月1日から2月10日の100日間、法華経寺内の大荒行堂にてご修行されるお上人に、祈願と供養のお経を読んで頂くものです。修行僧しか立ち入れないお堂、同じく修行僧しか拝顔できないご本尊様への祈願・供養は、この100日の期間しかありません。また、全国の日蓮宗寺院においても、この「荒行堂祈願」・「荒行堂供養」の受付を行っている寺院は限られています。

ご希望の方は同封の申込書に必要事項をお書きの上、返信用封筒もしくはFAX（06-6761-4617）にてお申し込み下さい。後日郵便振替用紙をお送りしますので祈願料・供養料（いずれも1件10000円）の振り込みにお使い下さい。

明年2月10日満行の後、全修行僧の読経とお題目に触れた木札をお渡し致します。なお、準備などにお時間を頂く為、当山へのお申し込みは12月5日までにお願い致します。期限後の申込は受付できない場合がありますので、ご注意下さい。

また、申込用紙の取扱者(ご家庭の代表者様、申込用紙に記載している受取人様の欄)のお名前を必ずご記入下さい。こちらはお寺での申込確認や集計、発送等を行う際に拝見致します。ご協力をお願い致します。

お火焚き(おひたき)法要について

12月20日（水）、午後5時より本堂前において、古い仏具、位牌、お札、遺影、人形などの魂を抜き、感謝を込めてのお焚き上げを致しますのでご参詣下さい。法要準備等がありますので、前日の午後5時までに当山にお預け下さい。終了後客殿に於て、普賢三宝大荒神（ふげんさんぼうだいこうじん・火と水の神、台所におまつりします）と、烏蘇沙摩明王のお札（うすさまみょうおう・不浄な所、トイレにおまつりします）を授与致します。

除夜の鐘・灯明供養について

12月31日午後11時30分より（終了は0時30分を予定）、当山鐘楼堂にて「除夜の鐘」を勤めます。また、108鍾までにつかれた方は、新年の「年中安泰祈祷札」をお渡しします。お早めにお越し下さい。

除夜の鐘をつく理由は、人の心にある煩悩や受けた難を祓うためと言われています。今年1年を振り返って自らの煩悩や難を祓う為、そして新年を気持ちよく迎える為に、お誘いあわせの上お越し下さい。

本堂内では献灯供養、境内ではキッチンカーの出店も行っております。仏様へ灯明を供養されたい方は堂内へお越し下さい。

日蓮宗加行所（大荒行堂）とは

日蓮宗の大荒行は、全国から 100 人前後の僧侶が集まり、毎年 11 月 1 日より翌年の 2 月 10 日まで行われます。

11 月 1 日に法華経寺内の大荒行堂へ全修行僧が向かう時、瑞門(ずいもん)と呼ばれる門をくぐります。この門は私達のいる場所と修行場を結ぶ唯一の出入り口であります。その為、全員がこの門をくぐった後は固く閉ざされ、2 月 10 日まで開く事はありません。外部との交流を遮断した結界での修行なのです。

荒行僧の 1 日は、早朝 2 時に起床し、朝 3 時、一番の水から午後 11 時まで 1 日 7 回、寒水に身を清める「水行」と、「万巻の読経」「木剣相承」相伝書の「書写行」があり、朝夕 2 回、梅干し 1 個の白粥の食事の生活が続きます。

最初の 35 日は、自らの「懺悔滅罪」を黙々と行う自行と呼ばれます。手や足のひびやあかぎれが裂け、血が吹き出してくる苦修練行は、読経堂内の「寒水白粥凡骨将死」「理懺事悔聖胎自生」という対句のとおり、まさに「死と蘇生」の宗教的体験が秘められています。この期間が終わる翌日（12 月 6 日）より、5 分だけの面会や特別祈祷が許される様になります。

こうして続けられる、法華経万巻の読誦・唱題・水行・その他の勤役が「所作仏事」となって、目には見えない「現世安穏後生善処の法華経」の「妙法経力」が僧侶の心身に功徳霊気となって経験・蓄積し、祈祷修法によってこれを発動させ、修法を受ける人々に効験利益を与えて、妙法広布の大願を成就するのです。

『寒水白粥凡骨将死』

寒風吹き下ろす中で冷水を浴び、白粥は僅かに命を繋ぐに過ぎず、寒さ骨にしみ入り凡夫の肢体は幾度か死境に趣かんとするほど弱くなる。

『理懺事悔聖胎自生』

一心に真理を悟ろうとその身・口・意に読経し、御題目を唱え、自らの罪を懺悔し、真理を悟る智力を頂き、遂に御仏とちがわない尊い姿と成る。

荒行堂祈願　申込書

	祈願の主旨	年齢	性別	氏名
1				
2				
3				
4				
5				

取扱者名

○祈願の主旨
家門繁栄・子孫長久・家内安全・身体健全・心願成就
当病平癒・手術成功・事業繁栄・商売繁盛・交通安全
良縁成就・子授成就・安産成就・発育成就・入学成就
合格成就・進学成就・罪障消滅・因縁消滅　等々

※荒行堂祈願料　一件　一万円　※締切　十二月五日

荒行堂供養　申込書

	先祖代々　もしくは　法名	施主
1		
2		
3		
4		
5		

取扱者名

※荒行堂供養料　一件　一万円　※締切　十二月五日